

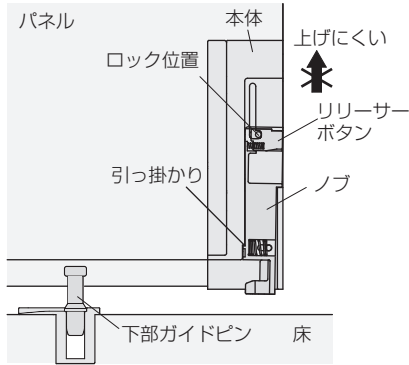
操作方法

■引戸パネルのFG-N150P(格納下部ガイド)の操作について

格納下部ガイドのノブは、下がった状態の時にロックが掛かっております。更に、ロックを解除しても下部ガイドピンが格納下部ガイドのキャッチに確実にハマっていないと上げづらくなる仕組みになっています。

●引戸として使用している時

リリーサーボタンがロック位置にあるため、固定されています。さらに、ノブが本体内部に引っ掛かっており、リリーサーボタンを押してロックを解除しても、上げづらくなっております。

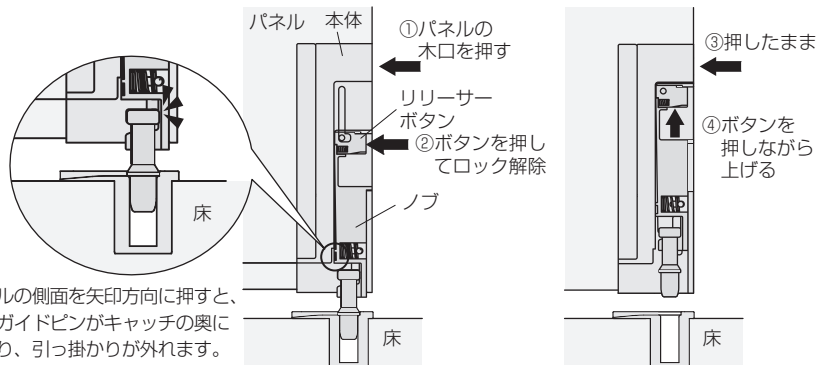


ご注意

ノブは無理に上げないでください。引っ掛かり部が削れ、正常な操作ができなくなります。

●収納部に収納する時

- ①ノブが下部ガイドピンに嵌合した状態で、パネルの木口を矢印方向に押し、ノブの引っ掛かりを外れます。
- ②その状態まま、リリーサーボタンを押してロックを解除しながら、ノブを上げると下部ガイドピンが本体に格納されます。



ご注意

ノブを操作する際は、指や爪を痛めるおそれがありますので、十分にご注意ください。

■SWボトムタイトの操作方法

ボトムタイトを下げる時

※あらかじめパネルに手を添えて、床の押受けに位置を合わせながら操作してください。

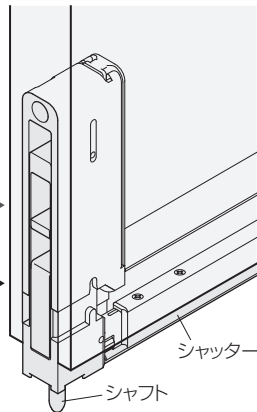
●操作ツマミを2段階下ろします

1段階目

シャフトを下ろしてパネルを固定

2段階目

シャッターを下ろして下隙間をふさぐ
※2段階目の操作は、1段階目より重く感じます。

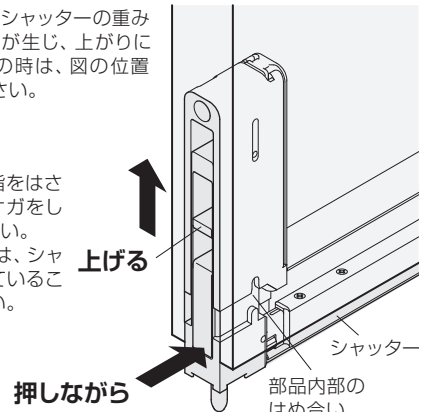


ボトムタイトを上げる時

ボトムタイトを上げる際、シャッターの重みで部品内部に引っ掛かりが生じ、上がりにくい場合があります。その時は、図の位置を押しながら上げてください。

ご注意

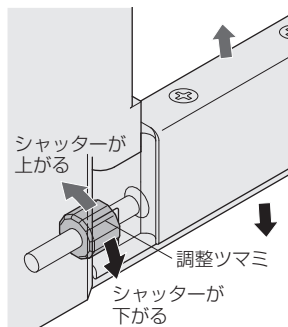
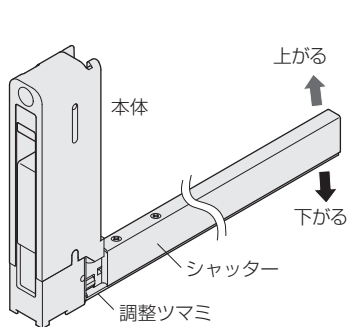
- ※操作時に、部品同士に指をはさんだり、パネルの角でケガをしないよう、ご注意ください。
- ※パネルを移動させる際は、シャッターが完全に上がっていることを必ずご確認ください。



■SWボトムタイト
シャッターの垂れ下がり調整

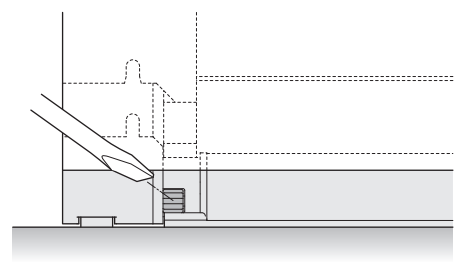
マイナスドライバーで本体の調整ツマミを回して、シャッターの角度を調整します。調整ツマミを上に戻すと上がり、下へ回すと下がります。

※パネル幅の大きさによっては、ボトムタイトを上げた際にシャッターの重みで先端が5mm程度下がる場合がありますが、機能上問題はありません。



ご注意

マイナスドライバーで調整の際は、無理に調整ツマミに差し込んでひねったり、床を傷つけたりしないようご注意ください。パネル幅が広い場合など、調整してもシャッターの先端がわずかに下がる場合があります。



ドア錠 1
丁番 2
スライド丁番 3
開き戸金具 4
引戸錠 5
引戸金具 6
上吊式引戸金具 7
移動間仕切金具 8
折戸金具 9
室内用アルミ建具 10
取手・引手 11
スライドルールワイヤーバスケット 12
収納・吊金具 13
その他の家具金物 14
物干金具・諸金具 15
真鍮アンティーク 16
設計施工ガイド
会社案内